

法人（事業所）理念		お子さまの発達支援から障害をお持ちの方や高齢者の方の生活サポートまで、事業の中心は「人との関わり」です。一つの支援をよりよくするためには、私たちが変わることによって相手も変わり、好ましい方向へ導いていく必要があります。「変えるために変わろう」を合言葉に、想いは変わらず、必要に応じて行動を変化させ、私たち、ご利用者様、関係する全ての皆さまの未来を明るくできるような企業でありたいと思っています。											
支援方針		バンブーハットは、子どもたち全員を「必ず1日30回以上ほめる！」を合言葉に活動する放課後ルームです。子供たちの才能や可能性を見出し、それをどうしたら広げられるかということを探りながら、想像しながら支援をし、環境を整え、成長の手助けをしていきたいと考えています。また、保護者の方へ個別支援計画の説明やアフターフォローもしっかりと行っておりまいます。											
営業時間		平日	14	時	0	分	から	17	時	0	分	送迎実施の有無	あり
		学校休業日	10	時	0	分	から	16	時	0	分		
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善（検温、排便確認、水分補給） ・生活習慣や生活リズムの形成（定時のおやつタイム、お子さまのスキルに合わせた文字やイラストまたは写真等によるスケジュール提示） ・基本的な生活スキル獲得に向けたトレーニング（手洗いの習慣化、トイレ、着替え、持ち物チェック、寒暖に合わせた衣服調節スキル） ・生活におけるマネジメントスキルの育成（買い物、外食、電車やバス利用、「バンブー通貨（当事業所オリジナルの模擬通貨）」使用による通貨の理解と経済感覚の育成）										★どの項目においても、活動の参加に向けてスモールステップで支援を計画しています。お子さまの負担を最小限にし、やってみたら「できた」「楽しかった」「褒められた」など、いいことがあったという経験を積み重ねられるように支援しています。 ★困った行動や学校生活で問題とされる行動に関しては、その行動に対して叱ったり、注意したりすることで変えるのではなく、望ましい行動を示して教え、その行動の方がメリットが得られる環境設定をして改善していきます。 ★ABA（応用行動分析学）を活用して、増やしたい行動や減らしたい行動にアプローチしていきます。行動の前や後の様子を記録に取りながら、身体・音声・視覚的な手助けをお子さまに合せて用意して支援していきます。	
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上・姿勢保持（座位および立位での活動、ラジオ体操） ・身体の移動能力の向上（ウォーキング、鬼ごっこ等ゲーム性のある運動、公共の交通手段利用や商業施設内等における移動スキル） ・保有する感覚の活用（視覚的合図や音の合図によって活動切替、料理レク、ハサミ等の道具を使用した工作や机上課題での指先作業、ボール等の道具を使ったゲーム、ボール遊び、お掃除活動、PC操作、工場見学、運動会実施）											
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応（お子様のスキルに合った指示や促しの提示） ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（形・色・数・空間・時間等の概念の形成、時計の理解、信号や横断歩道のルール理解、順番に並ぶ等の概念獲得、社会的通念や各場面のルールの理解とそれに基づいた適切な行動形成） ・行動障害への予防及び対応（お子さまのスキルに合わせた活動や道具を提供、各活動における成功体験の蓄積から望ましい行動を形成することにより行動障害を予防）											
	言語コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上・言語の受容と表出・言語の形成と活用・コミュニケーション手段の選択と活用（発話・身振り・カード交換等に必要スキルトレーニング、「絵カード同士」「絵カードと音声」「絵カードと文字」「文字と音声」の各マッチング、表情とジェスチャーの意味内容の理解、身の回りの事物を表す単語の習得、1語文から多語文へのスキルアップ、挨拶などの定型的な会話の習得） ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（アイコンタクトトレーニング、共同注意形成トレーニング） ・状況に応じたコミュニケーション（困った場面で質問したり手助けを求める、意思表明、相談や話し合い等の各スキルトレーニング）											
	人間関係社会性	・アタッチメントの形成と安定・情緒の安定・他者との関わり形成（褒める支援を基盤として自己肯定感や自己効力感を育てる、学校と家庭に次ぐ第三の居場所を提供） ・遊びを通じた社会性の発達・自己の理解と行動の調整・仲間づくりと集団への参加（「駄菓子屋」「カフェ」等の疑似的な店でのお仕事、高齢者施設との交流活動、地域の学童保育所との交流活動、鬼ごっこなどの集団遊び、チーム戦を取り入れた遊び、役割分担のある活動を行い決められた役割を遂行する、得意とするスキルを生かす場面を設けて他者に教えたりお手本を示す、コミュニケーションスキルを使って他児と相談・協調して活動する、ペアでの活動）											
家族支援		指導員がどのようなねらいをもって支援を行っているか保護者の方が観察できる機会を設けていきます。ご家庭での様子を聞き取り、ご家庭で実践できることを提案していきます。								移行支援		計画相談や会議の開催、学習記録の公開など学校と連携して、現状や支援内容等の情報交換を行います。学校生活での課題を活動に取り入れて、進学や社会生活に必要なスキル獲得のための支援を行います。	
地域支援・地域連携		（自立支援）協議会に参加し、関係機関と連携を図りながら、適切な支援を提供できるようにします。								職員の質の向上		各事業所による内部研修 パフォーマンスフィードバックによる自己成長のサポート 児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者養成研修等の資格取得支援	
主な行事等		季節のイベント（お花見・七夕・プール・ハロウィン・クリスマス・初詣・節分・ひな祭り） バーベキュー・お誕生日会・社会体験（電車・バス・外食体験など） 地域の学童との交流、法人内の高齢者デイサービス・放課後等デイサービス・児童発達支援との事業所交流											